

美
し
け
れ
ば

美
し
い
ほ
ど

*The more beautiful **it** becomes*



2017年2月7日（火）－ 4月9日（日）

原爆の図 丸木美術館
嘉手苺志朗 / 川田淳

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

開館時間：9時～17時（2月中は9時半～16時半）

休館日：月曜（祝日の場合は翌日）

入館料：大人900円 18歳未満または中高生600円 小学生400円

協力：佐喜眞美術館・Barrack・西尾祐馬・木村奈緒

企画：居原田遥

*本展では上映時間を指定し、途中入場不可の作品がございます。上映開始時刻についてはWEBサイトにてご確認ください。

原爆の図 丸木美術館 WEBサイト：<http://www.aya.or.jp/~marukimsn/kikaku/2017/okinawa.html>

沖縄の風景が美しければ美しいほど、やさしければやさしいほど、沖縄戦の惨劇は胸をえぐる。

『おきなわ しまのこえ』丸木俊のテキストより

本展は、現在の沖縄の状況をそれぞれの観点から伝える
展覧会です。

はじめて丸木夫妻の絵を目にしたのは、私がまだ小学生
の頃。その絵とは、沖縄県の佐喜真美術館にある《沖縄戦
の図》です。描かれているのは、丸木夫妻が想像した沖縄
戦。美しかったはずの沖縄が泥と血にまみれ、死体と暴
力で埋め尽くされた様子です。幼い頃から私は何度もこの
絵を見たことがありますが、この《沖縄戦の図》を目にす
るたびに、経験してはいないはずの沖縄戦に強い恐怖を抱か
ずにはいられない。丸木夫妻がこの絵を描いたことで成し
得た「沖縄戦を伝える行為」とは、今日まで引き継がれるべき
だと強く思います。

さて、彼らが《沖縄戦の図》を描いてから三十年あまり
が過ぎた現在。今日の沖縄の状況を伝える情報が、人々に
きちんと届き、そして受容されているとは思えません。沖
縄県北部に位置する高江ではヘリパッド基地の建設が強行
され、辺野古では海上基地の建設が進行しています。反対の
声をあげる人々に対し、時に国は暴力をふるい、排除を強い
ます。この状況が全国報道で映し出されることは殆どあり
ません。

沖縄の風景は今でも、あるいは現在だからこそ優しく、そ
して美しく見えるのだと私は思います。それは、かつての
丸木夫妻が目にし、耳にした沖縄から、どのように変容し
たのでしょうか。今日ここから、私たちは沖縄の何を見て、
何を聞き、伝えることができるのでしょうか。

居原田 遙



《彼らの声》 2015, single channel HD video, 9'57"

嘉手苺志朗 Shiro KADEKARU

1985年沖縄県生まれ。2014年沖縄県立芸術大学大学院絵画専修修了。近年では歌や既存の小説をモチーフにして、自身の出身地でもある沖縄を背景に虚構的な映像を制作。主に「群馬青年ビエンナーレ2015」(群馬県立近代美術館、2015年)、「社会と芸術」(浦添市美術館、2015年)「VOCA展2016」(上野の森美術館、2016年)、the 5th Taiwan International Video Art Exhibition (鳳甲美術館、2016年)などに参加。

企画者略歴

居原田 遙 Haruka IHARADA

1991年沖縄県生まれ。2014年東京芸術大学音楽文化学専攻修了。沖縄をはじめ、アジア圏の芸術運動、オルタナティブ・カルチャーを関心の軸とし、企画や展覧会などを行う。主な活動に、「doubles2間(のめ)」(WAITINGROOM、東京都、2016年)キュレーション、ドキュメンタリー映画《Constellation》(中森圭二郎監督、2016年)共同制作。



《終わらない過去》 2015, single channel HD video, 71'41"

川田 淳 Jun KAWADA

1983年埼玉県生まれ。2007年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。IKEAでゲリラ的に作品を制作し発表するものや、マクドナルドで何も注文せずに店員をただ60秒間見つめる作品等、自身の行為を記録したものを主に映像作品として発表。主な個展に「終わらない過去」(東京都、2015年)。近年では他に「DMZ Pilgrimage」(South Korea DMZ Piece-Life Hill、韓国、2015年)などに参加。

シンポジウム

「沖縄の情報は本当に伝えられていないのか」

日時：2017年3月26日(日曜) 15:00-17:00

予約不要・無料(入館料別途)

登壇者：伊藤守 (メディア研究/早稲田大学教授)

津田大介 (ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)

毛利嘉孝 (社会学/東京芸術大学教授)

モデレーター：木村奈緒 (フリーライター)

実施協力：早稲田大学メディアシティズンシップ研究所

*会期中には他にもイベントを開催する予定です。

詳細は決まり次第、丸木美術館WEBサイトでお知らせします。

アクセス

- 東武東上線 森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
- 東武東上線 東松山駅
市内循環バス唐子コース (日祝運休)
浄空院入口 / 丸木美術館北下車
- 東武東上線 つきのわ駅
南口より徒歩30分

バス時刻表

▼市内循環バス唐子コース
丸木美術館行き
08:05 東松山駅東口→08:22 浄空院入口
11:12 東松山駅東口→11:29 浄空院入口
12:07 高坂駅西口→12:25 丸木美術館北
13:12 東松山駅東口→13:29 浄空院入口
15:22 高坂駅西口→15:40 丸木美術館北
※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。
日祝日は運行していません

このチラシをご持参で来館料が100円引きになります